KOMATSU
ELECTRIC INDUSTRY
CO.,LTD.

小松電機産業株式会社
https://www.komatsuelec.co.jp/

人間自然科学研究所
https://www.hns.gr.jp/

本　　社／〒690-0046
島根県松江市乃木福富町 735-188 松江湖南テクノパーク内
TEL : 050-3161-2490　FAX : 050-3161-3846

東 京 支 社／〒105-0013
東京都港区浜松町 1-18-13 高桑ビル 5F
TEL : 050-3161-2483　FAX : 050-3161-3841

大 阪 営 業 所／〒578-0911
大阪府東大阪市中新開 2-6-37 COMPLAZA アーチー
TEL : 050-3161-2484　FAX : 050-3161-3842

八 雲 事 業 所／〒690-2198
島根県松江市八雲町東岩坂 180
TEL : 050-3161-2486　FAX : 050-3161-3843

タイ駐在事務所／388 Exchange Tower, 29th Floor, Unit 2901-2904, Sukhumvit Road, Klongtoey sub-district, Klongtoey District, Bangkok 10110 THAILAND
TEL : ＋66-2-104-9161　FAX : ＋66-2-104-9101

KOMATSU KOREA／KOFOMO Techno Center 2-718, 341, Gongdan 1-daero, Siheung-si, Gyeonggi-do, Korea (1289-5, Jeongwang 1-dong)
TEL : ＋82-31-498-6655　FAX : ＋82-31-498-6019

2025.06

1981年制定 社是　事業を通じて世界に歓びの輪を広げよう

KOMATSU AKIO
小松 昭夫
小松電機産業株式会社 代表取締役
一般財団法人人間自然科学研究所 理事長

座右の銘は「中庸」「和譲」「和」。朝鮮半島と日本列島の地政学的使命を感じ、３つのソフトパワー（感情を加味した知恵、使命、会話力）と、２つのハードパワー（集団組織力、道理を実現するための方便）を、全体の文脈の中で統合することから生まれる力「和譲」から、共感、対立、統合、発展がスパイラル状に広がることを念じています。

小松電機産業は、シートシャッター happy gate 門番システム、クラウド総合水管理システム「やくも水神」ネットワーク、人間自然科学研究所の3つの事業を通じて「楽しく持続的に生きられる地球社会をつくる、私がつくる」を理念として活動を続けています。

環境改善と地球温暖化防止に貢献する「門番」を開発・販売してマーケットを創造し、「中業企業センター賞」「ニュービジネス大賞」を受賞。2012 年には happy gate 門番システムが、ものづくり日本大賞優秀賞を受賞しました。「やくも水神」は科学技術庁「注目発明選定証」を受証しています。人間自然科学研究所は平和・環境・健康事業を通じて、世界の恒久平和のモデルを創出しようと志しています。

具体的な事業を通じて人類進化の道を切り開く――小松電機産業は、21 世紀型の新しいビジネスモデルを実践している集団です。

会社沿革

1973 年　現代表取締役小松昭夫（28 歳）が、自宅納屋で小松産業を創立
（10 万円の資金、5 万円の中古サニートラックと工具箱一つからの出発）
1981 年　社是：「社業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」制定
小松電機産業株式会社を設立
1985 年　高速シートシャッター「門番」を開発、発表、全国展開へ
1991 年　「門番」が「ニュービジネス大賞最高賞」を受賞
水道監視制御装置と「門番」が、社団法人中小企業研究センターの「研究センター賞」を受賞（中四国で 1 社）
1992 年　韓国企業「東友」とシートシャッター製造業務提携
上下水道自動制御・監視システム「やくも水神」開発、発表
東京支社開設
1994 年　集落排水計測・制御監視システム「NEW やくも水神」を開発、発表
人間自然科学研究所を設立
1995 年　やくも水神が科学技術庁「注目発明選定証」を受証
「パッケージ水神」開発、発表
1998 年　松江湖南テクノパークに新社屋建設・竣工
2000 年　「新水神ネットワーク」及び「新中継ポンプ制御盤」を発表
大阪営業所開設
「魔法の経営」（早川和弘著）刊行
2003 年　新型門番「MX-10」開発
新水神ネットワーク、NTT ドコモ代々木ビル内に東京データセンタ開設
2007 年　やくも水神シリーズの納入実績が発売して 7 年で 3000 施設を突破
新型門番「KV-10」開発
門番が「国土交通大臣表彰」受彰
2008 年　超密閉・超耐久構造 KV シリーズ発表
2009 年　多目的管理端末 SA201E、201X 発売
2010 年　門番 GF 型発表
やくも水神 G シリーズ発表
韓国ソウル支社を開設
2011 年　ソウル支社を発展させ、現地法人 KOMATSU KOREA 設立
2012 年　happy gate 門番システムがものづくり日本大賞優秀賞受賞
小松昭夫代表取締役が「藍綬褒章」授章
2016 年　KOMATSU KOREA 韓日東亜日報
グローバル革新企業大賞受賞
タイ・バンコクに駐在事務所を開設
2018 年　自立モデル・防爆モデルを発表・発売
スマートフォン・タブレットで門番を設定変更する「門番アプリ」参考出展
2020 年　クラウド型リアルタイム表示（特許第 6527660 号）で令和 2 年度中国地方発明表彰において「中国経済産業局長賞」を受賞
2022 年　第 30 回中国地域ニュービジネス大賞優秀賞受賞
第 17 回ニッポン新事業創出大賞受賞 特別賞受賞
2025 年　第 50 回 発明大賞 日本発明振興協会会長賞受賞

人間自然科学研究所

「新しい和の文化」創造をめざして

世界は核拡散と情報通信革命が進むなか、金融混乱、エネルギー・資源危機などが重なり、展望が開けない状況に陥っています。自然環境も地球規模の大変動機の様相を帯び、人類社会をいかにして存続させるかという視点が求められています。

東アジアでは歴史的背景から、日本と朝鮮半島の間に竹島＝独島問題、慰安婦問題、日本海＝東海呼称問題など抑制された対立が続いています。

こうした社会環境を背景に、今、朝鮮半島と日本列島に、人類の歴史上初めて「新しい和の文化」を生み出す平和の事業化を必要とする時代がめぐってきています。人類史的かつ世界的視野で現状を直視し、共感の場を生み出し、対立を統合・発展に導く循環が「和」であり、その手段が「和譲」です。

人間自然科学研究所は 1988 年、若手経営者が創業の地で集まった「知革塾」から始まり、20 年以上にわたって生命の本質、人類の特性を踏まえ、「楽しく持続的に生きられる地球社会」への道筋を論理的に提案・実行する「シンクタンク&ドゥタンク」として活動してまいりました。対立のエネルギーを生かし、３大核大国（中国、露国、米国）の結節点である朝鮮半島と日本列島を核の空白地帯にし、世界の核削減の流れにつなげ、先端科学、情報通信技術を組合せ、世界人類の進化に寄与することを提言しています。

人間自然科学研究所の歴史

1995年 「周藤彌兵衛シンポジウム」

1997年　韓国独立記念館訪問・献花・寄付

2001年　中国人民抗日戦争記念館訪問・寄付

2005年　中国南京記念館を訪問・献花

2006年　神有月 和譲平和フォーラム

2014年　周藤彌兵衛翁大銅像除幕

1998 年　4 月　若手経営者 20 名で「知革塾」開塾
1994 年　4 月　人間自然科学研究所設立、郷土の偉人を顕彰する
出版活動を中心とする「一村一志」運動開始
11 月　「第一回神有月縁結び世界大会」開催
1995 年　4 月　「周藤彌兵衛シンポジウム」開催
6 月　「人と水と食のシンポジウム」開催
1996 年　9 月　中海・本庄工区の未来構想シンポジウム開催
11 月　「母なる中海」ダイヤモンド社より出版
1997 年　3 月　「第二回神有月縁結び世界大会」開催
6 月　韓国独立記念館訪問、日本人として初めて献花・寄付
1998 年　7 月　大韓赤十字社を通じて朝鮮民主主義人民共和国へ食料支援
1999 年　7 月　「太陽の國 IZUMO」出版
10 月　「第三回縁結び世界大会」開催
2001 年　5 月　中国人民抗日戦争記念館訪問・献花
2002 年　2 月　日中英対訳「論語」出版
8 月　「治水の偉人・大梶七兵衛」小説・漫画・児童文学出版
「出雲三兵衛」完成
9 月　中国山東省棗荘・台児荘大戦記念館で、中国側 3000 人、日本人側 40 人で孔子・孟子・周藤彌兵衛翁・清原太兵衛翁の銅像完成出発式
2003 年 10 月　日本最大の中国庭園「燕趙園」に孔子・孟子像を建立
2004 年 10 月　「太陽の國」推進シンポジウムを開催
2005 年　9 月　中国南京記念館を訪問・献花、中国中央電視台ニュースで 3 回にわたって全国放送、在日本中国大使館ホームページに掲載された
12 月　ハワイ「アリゾナ記念館」真珠湾攻撃記念式出席・献花
2006 年　3 月　燕趙園に西王母と八仙人大理石像を紹介建立
「平和環境健康特別区申請 特別シンポジウム」開催
10 月　小松理事長、釜山市庁国際会議場で講演
11 月　出雲大社で「神有月 和譲平和フォーラム」開催
2007 年　3 月　燕趙園に孫子像を建立
12 月　南京大虐殺紀念館改築式典招待出席
2008 年　6 月　松江市にて「族譜」公演、小松理事長が主催団体会長に
10 月　第 6 回国際平和博物館会議、京都・広島開催協賛、松江で「出雲和譲フォーラム」開催
2009 年　2 月　中国古典名言録、竹島＝独島問題入門、出版記念講演
「混迷の時代 出雲から陽が昇る」開催
9 月　ロシア・ウラジオストック、ハバロフスクの第二次世界大戦慰霊碑を訪問・献花
2 月　松江市にて開催の将棋第 60 期王将戦を支援
2 月　「朝鮮半島と日本列島の使命」発刊
2010 年 10 月　アジア太平洋平和研究学会で、小松理事長講演
2011 年　7 月　韓国の月刊誌「市民時代」に「真の愛国者」として特集される
11 月　国際マンガサミット鳥取大会にて、漫画、周藤彌兵衛・清原太兵衛・大梶七兵衛を展示
2012 年　9 月　オランダ・ハーグ市「カーネギー平和宮 100 周年」記念事業「世界平和事業家 20 人」に小松理事長が選ばれ式典出席
2013 年　6 月　ベルタ・フォン・ズットナーの記念事業に取組み、平和大賞をウィーン平和ミュージアムより受賞
2014 年　8 月　松江市八雲町に周藤彌兵衛翁像除幕
11 月　「八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム」開催
2015 年　8 月　「日英対訳 悠久の河」「天略」「島根核発電所」出版
11 月　八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催
12 月　中国・学苑出版社より「対立から共生へ」出版
2017 年　4 月　島根原子力発電所国際プロジェクト構想発表・座談会開催
6 月　ハワイ・アリゾナ記念館訪問、献花、寄付
7 月　国際二戦 80 周年博物館長フォーラムで構想・提言を磯江公博監事が代読
8 月
11 月　韓国・ハルバート博士 68 周忌追悼式で尹熙竣代表理事が代読
2018 年　3 月　八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催
10 月　映画「日本と再生」上映・講演・韓国へ向けズットナー像出発式
「一隅を守り千里を照らす 小松昭夫の経営の道」「経営理念手帳」出版
11 月　発表会
2019 年　2 月　イップ常子氏を招きシンポジウム開催
4 月　島根県民会館で小泉純一郎元総理講演会開催（共同代表）
6 月　熊野大社鑽火殿の聖火をいただき聖火リレーを開催
「対立から共生の文化へ」シンポジウムにあわせ宍道湖岸袖師地蔵前で全国世界水の偉人覚醒顕彰祭を開催
水と火と健康寿命の聖地構想を発表
9 月　ポーランド アウシュビッツ訪問・献花
2020 年 10 月　国際アジア共同体学会にて岡倉天心国際賞受賞
2 月　ウィリアム・K・バルトン 青山霊園墓参、その後胸像再建祝賀式に参加
東京と松江を Zoom で結びび全国コミュニティ FM120 局以上でラジオおはようサンデーを生放送 映像を入れ Youtube で世界に配信
2022 年　9 月　地元小学校 2 校へ治水の偉人書籍と CD を贈呈
2023 年　6 月　竹島・独島米軍爆撃事件が起こった 6 月 8 日にシンポジウムを開催、同日竹島で開催された慰霊祭で追悼文を崔鳳泰弁護士により代読
9 月　嫁ヶ島夕日スポットで全国世界水の偉人 172 名の灯籠と地下道に功績と写真を展示

高速シートシャッター門番はスチールシャッターの機能分解から発想し、これまで 20 万台を販売しています。劇的に冷暖房、防塵、防風効果が高まることから、市場が生まれ、「門番」ブランドが広く認知されました。1991 年に中小企業研究センター賞、ニュービジネス大賞を受賞。2007 年に国土交通大臣表彰を受彰しました。2010 年にはシャッター・ドア業界で初めて、門番全シリーズがエコマーク認定を受け、2012 年には新開発の happy gate 門番システムが「ものづくり日本大賞優秀賞」を受賞しています。また、韓国の KOMATSU KOREA はグローバル革新企業大賞を受賞しました。

東京築地
豊洲新市場に大量採用

■『門番』の歴史

1989年　デモ機により全国へ営業

1991年　ニュービジネス大賞受賞

2012年　ものづくり日本大賞優秀賞受賞

1980 年 11 月　三菱農機よりシートシャッター製作依頼を受け、プロトタイプを開発
1985 年　8 月　シートシャッター「門番」を全国販売
1986 年 10 月　巻き取り式開発
文化シヤッターと OEM 契約、「エアキーパー」を生産し供給
1988 年　2 月　全国発表 3 年語、販売台数 1,000 台を達成
6 月　巻き取り式 KS シリーズ化、プリント基板での制御盤を開発
1989 年　デモ機を作成し、全国ユーザーへ営業
3 月　FMS 板金無人ラインを県内企業に先駆け導入
6 月　異業種企業 7 社で協同組合「テクノくにびき」設立
1990 年　1 月　全国発表 5 年後、販売台数 5,000 台を達成
2 月　熊野大社事業所竣工、シャッター部品の生産開始
10 月　韓国企業「東友 FA」社とシートシャッター「門番」で業務提携
1991 年　1 月　社団法人中小企業研究センターからセンター賞受賞
販売 6 年目で販売台数 10,000 台を突破
9 月　韓国でシートシャッター門番 国際会議を開催
10 月　社団法人ニュービジネス協議会よりニュービジネス大賞受賞
1993 年　1 月　インバーター制御盤「門番」開発
1994 年 10 月　KT シリーズ発表会を開催
11 月　第一回施工研修会を開催
1997 年 10 月　巻取式 KU10・20 型開発　インバータ・エンコーダ制御機能、サイクロエンジン開発
1998 年　1 月　シートシャッター「門番」製造ライン及び本社機能を松江工場に移管
5 月　KU シリーズ発表
1999 年　9 月　オプトロン門番発表会　代理店もオプトロン門番販売を開始
2000 年　3 月　文化シヤッターとの OEM 解消
2002 年　7 月　超密閉構造、自動復帰機能搭載した MX 型発売
2005 年 12 月　販売台数 10 万台を達成、本社で式典開催
2007 年　6 月　浅原工業と業務提携　手動式「さわやか門番」販売開始
10 月　地球温暖化防止に貢献したことなどから国土交通大臣表彰を受彰
2008 年　5 月　超密閉・超耐久構造 KV シリーズ発表
2010 年　5 月　パイプレス構造の GF 型発表
KOMATSU KOREA 発足を記念し、境港市で初荷式
2011 年　6 月　パイプレス構造の G シリーズ、エアカーテン・エアシャワー一体型発売
2012 年　2 月　happy gate 門番システムが「ものづくり日本大賞優秀賞」受賞
2013 年　5 月　happy gate 門番システムラインナップ発表会開催
テレビ東京 WBS で全国放送
2015 年　2 月　マジックオプトロン門番発表・発売
豊洲新市場に門番を 150 台納入
2016 年　8 月　タイ・バンコクに駐在事務所を開設
2018 年　5 月　自立モデル・防爆モデルを発表・発売
スマートフォン・タブレットで門番を設定変更する「門番アプリ」参考出展
2021 年　7 月　日曜劇場 TOKYO MER〜走る緊急救命室〜に美術協力
その後続編映画にも続けて協力

屋内 軽量・スリム・コンパクト パイプレス
G062/022/114/024/119/219/GF17/22
幅 600～4500
高 600～4500 mm

自立 下地不要・短時間施工 パイプレス
G12S/14S
幅 800～2500
高 1800～2500 mm

屋外 風圧に強いパイプ式
R054/109/209/309/409/RF50/R30W/40W/R30T/40T
幅 600～10000
高 1000～ 6000 mm

冷蔵冷凍庫
G11F/R10F
幅 800～3500
高 1000～3500 mm

防爆区域
G10A/20A/30A/10E/20E/30E
幅 800～4000
高 2000～4000 mm

装置組込 門番ユニット
BUILT-IN

happy gate 門番システム

“空間価値創造” をキャッチフレーズにした happy gate 門番システムは制御盤を内蔵したことによりコンパクト化、容易に取付・移設ができることから、業界のデファクトスタンダードになりました。厨房やマンドア、エアシャワー、エアカーテン、パーテーションへの組込みなど、従来のシートシャッターの用途を超えた広がりを見せています。

屋内用 G 型は、開閉は業界最速の秒速 3.2m。衝突などでシートが外れた場合でも、開閉ボタンを押すことで自動的にガイドに収まる自動復帰機構を有しているため、作業を妨げません。電子制御技術により、人や物があたった場合には低速（秒速 0.5m）で反転上昇、センサーが検知した場合は安全のため中速（秒速 1.5m）で上昇します。シートを下から持ち上げることで女性でも簡単に脱出ができる構造で、災害など長期の停電時にも安心です。

シート両端には、断面がクローバー型になったチューブを配置。従来のファスナーに比べ、静音性、耐久性が増しました。

2015 年に発売したマジックオプトロン門番は、「外気に触れる表は防虫、入った虫は外に逃す誘虫」の世界初のマジックオプトロンシートを採用。工場はもちろん、室内外での採用が広がっています。

装置に組込み、空間価値をプロデュース

屋外向け R 型は、風や気圧差で起きるシートのふくらみによってできる隙間を防いでしっかり密閉します。アルミフレームと、パイプ両端のゴムリング付きローラーユニットと組合せ、従来品比で飛躍的な静粛性を実現しました。

摂氏マイナス 25 度から 5 度までの低温倉庫の間仕切りに使用いただける「冷蔵冷凍庫仕様」、化学工場向けに、世界初のエアー式開閉を実現した「防爆仕様」。エアシャワー・エアカーテン・コンベア・昇降機など、幅広い装置に組み込む「装置組込門番ユニット」も加え、さまざまな空間価値をプロデュースします。

2003年にRubyを採用

クラウドでリアルタイム管理

やくも水神 yakumo Suishin Network

水に関する社会インフラの老朽化や事業統合、広域合併によるシステム統合が重要課題となっています。これに応え、災害に強く、低コストで、中央監視装置をはるかに上回る機能を備えたシステムが、「やくも水神」ネットワークです。1995 年 4 月、「科学技術庁第 54 回注目発明選定証」を受証。

Google がクラウド・コンピューティングを提唱する 6 年前にあたる 2000 年に、インターネットによる管理制御システムとして発表。2003 年に松江発のコンピュータ言語として知られる Ruby を採用した「やくも水神」は、スマホとタブレットで広域クロスオーバー管理ができる画期的なシステムです。

『水神』の歴史

1994年　New 水神開発・発表

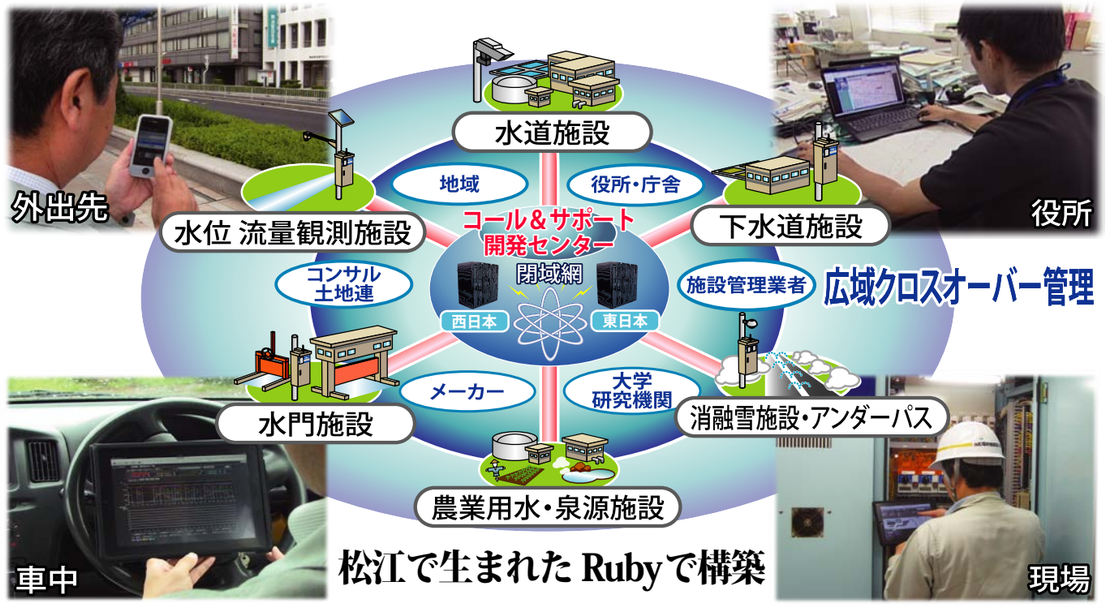
1995年「科学技術庁第 54 回注目発明選定証」受証

2010年　やくも水神 G シリーズ発表

1977 年　3 月　テレメータによる遠方監視設備納入（島根県・美都町）
1984 年　3 月　テレメータによる遠方監視及び遠隔制御設備納入（島根県・湖陵町）
1985 年　3 月　水道施設監視設備のデータロギング装置をはじめて納入（島根県・佐田町）
1988 年　3 月　松江市にデータロギング装置納入
水神の原形となるパソコンと一般公衆回線仕様監視装置開発・納入（滋賀県・びわ町）
1990 年　3 月　上下水道施設以外の用途として納入（島根県・平田市塩分濃度監視装置）
1992 年　9 月　遠方監視システムやくも水神開発
マンホールポンプ監視装置としてボード端末発売
1994 年 10 月　New 水神開発・発表
1995 年　4 月　「科学技術庁第 54 回注目発明選定証」受証
11 月　Package 水神 Ver.1 発売
1996 年　9 月　Package 水神 Ver.2 発売
10 月　水道施設監視制御システム・マスター水神発売
1999 年 12 月　ユーザー設置型 Web 水神発売
2000 年　1 月　コントローラ（SC200X）方式マンホールポンプ制御盤発売
9 月　九州・沖縄サミット IT 憲章と森喜郎首相（当時）が国会で発表した e-Japan 構想を受け、インターネット・i モード管理制御やくも水神ネットワークシステムを記者発表、情報配信サービスを開始
12 月　農林水産環境展（幕張メッセ）にて水神ネットワークシステム出展
2001 年　7 月　下水道展に水神ネットワークシステム出展
2003 年　3 月　産学官共有「宍道湖モニタリングシステム」出展
7 月　東日本データセンター開設
12 月　マンホールポンプコントローラーフルモデルチェンジ SC210 発売
データセンター東西 2 拠点化、システムに Ruby を採用
2004 年　3 月　ウェブネットアダプタ発売、水道施設 Web 管理システム開発
4 月　後付管理端末 SA210 発売、消融雪管理システム開発
2005 年　3 月　松江市水道管理システム Web 監視化完了
4 月　カメラ監視システム開発
2006 年 11 月　多目的管理端末 SA210V 発売
2007 年　4 月　マンホールポンプコントローラー SC210、多目的管理端末 SA210FOMA 化対応
太陽電池利用の流量観測装置発売
2009 年　9 月　Ruby ワールドカンファレンスにて水神技術発表
12 月　多目的管理端末 SA201E、201X 開発
2010 年　3 月　情報通信総合研究所（NTT シンクタンク）で小松社長講演
6 月　やくも水神 G シリーズ発表
10 月　野村総合研究所主催の「NRI 未来創発フォーラム 2010」で、名古屋 1700 名、東京 2700 名の前で「次世代の社会インフラ」として紹介される
2011 年　4 月　東日本大震災に伴う計画停電を受け長時間停電対応・大容量バッテリー監視装置を開発
2012 年　7 月　やくも水神タブレット向けアプリ開発、下水道展で大好評
2013 年 10 月　にリアルタイム監視機能リリース
11 月　国土交通省「下水道における ICT 活用に関する検討会」成功事例に、やくも水神を用いている長崎市（中大規模自治体）、兵庫県多可町（小規模自治体）が選ばれる
2015 年　4 月　雨量監視制御システムを東京都武蔵野市に導入
リアルタイムで市民へ情報を一般公開
2019 年　3 月　47 都道府県 470 自治体 12,000 施設導入達成
2020 年 10 月　クラウド型リアルタイム表示（特許第 6527660 号）で中国地方発明表彰において中国経済産業局長賞を受賞
2022 年　6 月　第 30 回中国地域ニュービジネス大賞優秀賞受賞
12 月　第 17 回ニッポン新事業創出大賞において 特別賞受賞
2025 年　3 月　第 50 回 発明大賞 日本発明振興協会会長賞受賞

民民公連携を推進、広域クロスオーバー管理で新産業創出・維持管理費用大幅削減

水のICTであなたの街 日本 世界が変わる



導入から進化しつづけるシステム、劇的な負担軽減とコスト削減

「やくも水神」ネットワークシステムは劇的な労務負担軽減と経費削減ができ、導入時から陳腐化していくいままでのシステムと違い、ユーザーにストレスを与えず進化し続け、理想的な環境施設の運転を実現できることから、上下水道、工業用水、水門、消雪、農業集落排水、温泉水、河川、ダム管理など全国 516 自治体 19,100 施設（2025 年 3 月現在）で稼働しています。

クラウド型リアルタイム監視

パソコン、タブレット端末、スマートフォンを通じて、遠隔地から水関連施設の監視・管理、制御、設定内容の変更ができます。

携帯電話の電波網を通じて、施設の管理情報を 24 時間、365 日届け、緊急時には警報メールを指定した複数の担当者に一斉送信。上水道の貯水量など刻々と変わりゆくデータをリアルタイムで監視、専用線に比べ断線の恐れがなく、事故や災害など緊急時の監視継続に役立ち、万一の復旧もスムースです。

東日本データセンターと西日本データセンターの東西 600km 離れた 2 拠点で管理、高いセキュリティ体制を整えています。

地図画面には GoogleMaps を使用。エリア内にあるすべての水道施設や地下の管理を一つの画面上で表示、ユーザー側で撮影した施設写真を反映、施設までの行き先を表示するなど、高度な機能が簡単に使えます。

クラウド水質管理システムを南会津町と共同開発

国が掲げる広域・官民連携、小規模水道事業支援での広域クロスオーバー管理を水神で構想する南会津町が「平成 30 年度水道イノベーション賞特別賞」を受賞されました。

福島第一原発に近い避難解除地域や震災復興地域（浪江町、南相馬市、山元町）でもやくも水神の導入が進んでいます。

上下水道施設制御監視盤

マンホールポンプ制御盤

配水池水位

スマートフォン

タブレット
フローシート